

オーバーロード～至高
の語録帳～

ビエン

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ギルド「アインズ・ウール・ゴウン」のメンバー。

その全員がギルドへの執着が原作のモモンガ様並みであり全員が一緒に転移してしまつた場合。

そして全員のカルマ値が-400〜-500だった場合。

全員がカルマ値通りの思考だった場合。

上記の3つを踏まえた上で、1文や短編として書いていくものです。

同じページ内でも繋がりはあることもあれば無いこともある、と言つた感じの物で

す。

原作には登場していないキャラや私自身よく分かっていない部分や不明な部分などは捏造と想像で補っていきます。

こう言った物が苦手な方はお読みにならない方がいいと思います。

どんな物でもオーバーロードの二次創作ならOKという方のみお読みください。

質問は答えて大丈夫そうなもののみ返答します。

それ以外は無視の形を取ります。

目次

至高の41人編

1

至高の41人編

たっち・みー

「アインズ・ウール・ゴウンのみが正義だ！」

「アインズ・ウール・ゴウンに齒向かうとは・・・正義執行！」

ウルベルト・アレイン・オードル

「アインズ・ウール・ゴウンこそが悪！それ以外は正義なのだよ！」

「アインズ・ウール・ゴウンは悪の華。ならば悪という大輪の花でこの世界を満たそうじゃないか」

タブラ・スマラグデйна

「覚えておくといい。我々はアインズ・ウール・ゴウン・・・この世の全てを統べる者たちだ！」

「ギャップ萌えですよ。死んでいるのに生きてるなんてさいつここのギャップ萌えですよ！モモンガさあん！」

ぶくぶく茶釜

「アインズ・ウール・ゴウンって知ってる？あ、知らない。んじや死ねや」

「はいガード・・・あつ防ぐまでもなかったわ」

武人建御雷

「アインズ・ウール・ゴウンを馬鹿にしたって聞いちゃあ殺さないわけにはいかねえんだ。わりーなあ」

「オラオラオラア！もつとかかってこいやあ！」

式式炎雷

「対アインズ・ウール・ゴウン同盟を作ろうとしてたから殺しといたよー」

「あつあんたのご主人ならここにいろよ。頭だけけど」

あまのまひとつ

「アインズ・ウール・ゴウンと交渉出来るわけないだろうが。バーカ」

「俺の武器を使いこなせるのはアインズ・ウール・ゴウンだけだよ」

餡ころもつちもち

「アインズ・ウール・ゴウンと戦おうなんて可愛そうだね。勝てるわけがないのに」

「世界級アイテムには驚いたよね。まあ無駄だったわけけど」

ウイツシユIII

「アインズ・ウール・ゴウンを利用するとは馬鹿な野郎だ。ぶつ殺してやるから覚悟しとけよ。このクソ共」

「旗を破った理由の……怒りだったか？そんなお前の下らない感情のせいで街が燃えているぞ?」

エンシエントワン

「アインズ・ウール・ゴウンの名に泥を塗るとは……簡単には殺さないから安心して絶望しろ」

「人間の肉は確か……エントマ辺りが好きだったな。持って帰ってやろう」

ガーネット

「アインズ・ウール・ゴウンの名を口に出す時は崇拜と畏敬の念を持って言うのだよ」
「アインズとかゴウンとか略称使ってたから街ごと潰してやったのだよ」

ク・ドウ・グラス

「アインズ・ウール・ゴウンも舐められたものですねえ。地獄を見せてあげますよお」
「はいはいはい！俺が行って全員殺してきますよお」

源次郎

「アインズ・ウール・ゴウンの至宝の数々を見たかい？素晴らしいだろう！」
「全く。この程度の実力で挑もうとしないでもらおうか。また散らかってしまつたではないか」

死獣天朱雀

「ふむ。アインズ・ウール・ゴウンの名は永遠に刻まれるべきだ。君もそう思わないか？」

「タブラ君は詳しいだろうが昔のホラー映画はこうやって血で文字を表したりしていたのだよ」

獣王メコン川

「アインズ・ウール・ゴウンは俺らの住処だけど……盗みに入るって今言ったか？あ？」
「モモンガさんがマスターで良かったですわ」

スーラータン

「アインズ・ウール・ゴウン？究極のギルドがどうかしたよ」
「ナザリックの表面部分が吹っ飛んだかー。誰がやりやがったんだ？殺しに行かねえとなー」

チギリス・ユーフラテス

「アインズ・ウール・ゴウンは常に輝き続ける。それ以外の姿なんて存在しないっしょ」
「悍ましいって顔したなー。殺しちまおうか」

テンパランス

「アインズ・ウール・ゴウンこそが世界の法！それ以外の法はいらない！つまりそういうことー」

「家畜を憐れむことなんてしないだろう？」

ぱりあぶる・たりすまん

「アインズ・ウール・ゴウン！この世の最高が集まったギルド！つまり最高つてことさ
ー」

「あー・・・可哀想に。底辺のゴミ共がゴミと気づかずにとっちが綺麗かを争ってるよ」

ぷにっつと萌え

「アインズ・ウール・ゴウンに不可能はありませんよ。アインズ・ウール・ゴウンこそが
最強のギルドなんですから」

「はいはい。皆さんちゅうもーく。世界征服計画の説明をするから静かにしてください
ゃー」

フラットフット

「アインズ・ウール・ゴウン・・・邪魔は消して・・・晒し者・・・」

「愚か者・・・無能・・・いらぬ・・・」

ぬーぼー

「アインズ・ウール・ゴウンこそが最高の存在。それなのに自分が最高だと？ふざけるな」

「さあ逃げろ逃げろ！巨大ゴーレムのお通りだあ！」

音改

「アインズ・ウール・ゴウンに捧げる貢物はどこや？無い？んじや処刑や」

「何人死のうが関係ないやろ。大事なのはアインズ・ウール・ゴウンに利益があるかないかや」

ブルー・プラネット

「アインズ・ウール・ゴウンの邪魔をする国は滅ぼして森にすればいいと思うんですよ」
「ゴミクスがあああああ！自然を！無断で！アインズ・ウール・ゴウンに！無断で！自然を破壊するだとおおお！」

ベルリバー

「アインズ・ウール・ゴウンこそが神に相応しい。それ以外は死ぬ」

「これがこの世界の風呂か。下らねえな」

へろへろ

「アインズ・ウール・ゴウンの邪魔をするなら殺しますよー」

「あんまり良い武器じゃないですね。間違つて骨まで溶かしちゃいましたよ。まあ歯向かった報いってことで」

ペロロンチーノ

「アインズ・ウール・ゴウンの上に飛ぶ蚊は俺が撃ち落しますよ……あつドラゴンだったわ」

「アインズ・ウール・ゴウンの為なら俺はエロを捨てれますよ」

ホワイトブリム

「アインズ・ウール・ゴウンを笑ったな？笑ったなああああああ！」

「アインズ・ウール・ゴウンの威光を知らしめるためにメイド服専用裁縫工場を作りましょう」

やまいこ

「アインズ・ウール・ゴウンの素晴らしさが分からないなんて・・・ボクが教えてあげられないね!」

「わがまま言うのと鉄拳制裁するよ?・・・フンッ!」

るし★ふあー

「アインズ・ウール・ゴウンと話がしたい?んじやあの世で話せや。テメエみてえなゴミクズがアインズ・ウール・ゴウンと話せると思うこと自体がムカつくんだよ!」

「アインズ・ウール・ゴウンばんざーい!ヒヤハハハハ!」

モモンガ

「アインズ・ウール・ゴウンこそが一番。それ以外は論外だ」

「アインズ・ウール・ゴウンを不変の伝説にせよ!」